

鹿児島東西道路シールドトンネル 技術検討委員会

設立趣意書

鹿児島東西道路シールドトンネルは、九州初の道路シールドトンネルであり、特殊な地質であるシラスを掘削するため高度な施工技術が必要である。

また、市街地部でのシールド発進や側道橋・調整池擁壁基礎杭への対応など、検討すべき課題が多く存在する。

従って、関係機関の緊密な連携とともに、近年の施工事例や技術開発の動向など最新の知見を確認し、検討することが不可欠である。

このため、鹿児島東西道路シールドトンネルに関し、トンネルの構造、施工技術等について確認、検討することを目的として、学識経験者、関係機関により本委員会を設置するものである。